

▶ 秋のホタル幼虫調査！

「ホタルの会」では、昨年から8月以降も幼虫調査を実施しています。昨年はヘイケボタルの幼虫が多く観察され、スジグロボタルの生息環境も確認しています。

9月23日の調査では、6月に多くのヘイケボタル成虫が発生した久木池上流①で昨年と同様に多くの幼虫を確認しました。また、同上流②でも19個体を確認しました。一方で、昨年多数の幼虫を確認した西の谷戸③は1個体の確認に止まりました。今夏の高湿・濁水の影響が懸念された久木池下流①では幼虫9個体が見付かり、少し安心しました。

調査時に気付いたのですが、私達の歩行に伴う微振動に反応して、ホタルの幼虫は尾端が点滅するようです。天敵に対しての警告行動の一つと思われます。

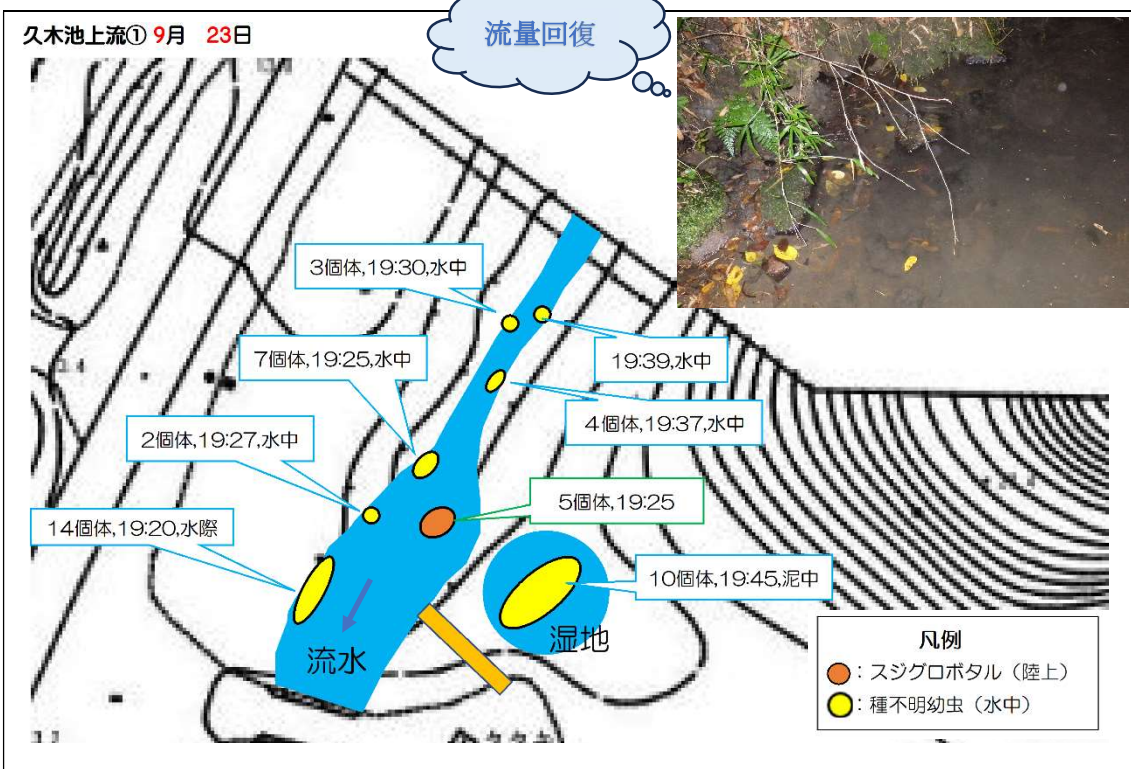


写真-1 久木池上流①の調査結果